

現代の日本と中国における大学生意識

【2025年11月・日中大学生交流会の記録】

2025年11月11日に実施した「JENESYS2025」中国大学生訪日団と日本の大学生の交流会を下記の通り記録する。

交流テーマ「日中大学生の“今”（双方の共通点と相違点を考える）」

1. 趣旨

本交流会は、日本と中国の大学生に、大学生活、幼少期の経験、就職観、結婚観など、学生の日常生活に基づく価値観について意見交換を行い、日常レベルでの日中の相違点、共通点を認識することを目的とした。日常に焦点を当てることによって、より身近な観点から相互理解の促進を図るものである。

2. 交流詳細

幼少期、大学生活、就職、結婚にテーマを絞り、あらかじめ質問を提示。提示された質問の中から班ごとに議論したいテーマを選んでもらった。議論の中で、価値観や風習が似ていればなぜ似ているのか、一方異なっていれば、なぜ違うのかについても考えるよう指示。あわせて、学生にワークシートの記入を求めた。

3. 交流報告

① 参加学生内訳

日本人大学生：21名、中国人大学生：27名。

② ワークシート整理方針

本資料は、交流会で学生が記入したワークシートを整理し、日中両国の学生が現時点で抱えている価値観・認識を記録することを目的として作成したものである。記載内容は、いずれも参加学生自身の主観的な印象・コメントに基づくものであり、統計的な正確性や一般化を意図するものではない。

本資料は、当該内容を一次資料として記録したものであり、事務局による解釈や総括的な所見等は含まない。

以下の情報は実施した交流会での学生の発言とワークシートをもとに整理したものである。

4. 日中の学生意識

① 就職活動に関する印象

日本

- ・金融、マーケティング業界が人気である
- ・人手不足により、就職浪人はほとんど見られない
- ・修士課程進学率は約9.7%（主に理系）である
- ・近年海外で活躍する職種の人気が上昇している
- ・大学での学びと関連する職を志望する学生が多い
- ・就職活動が早期化している
- ・転職への心理的ハードルが低下している

中国

- ・就職難が指摘されている
- ・公務員の人気が高い
- ・就職時に安定と福利厚生を重視する傾向にある
- ・修士課程進学率は約70%程度である
- ・就職活動を先送りするため進学する例がある
- ・就職せず、親に依存して生活する学生が一定数存在する
- ・大学院進学の方が就職しやすいとされている
- ・海外で働くことはあまり人気が高くない
- ・近年はインフルエンサーになりたいという人も多くいる

【学生のコメント】

中国では安定と福利厚生を重視し、公務員が人気である一方、日本では公務員人気が低く、給与水準の高い企業や海外で活躍できる企業を選ぶ傾向がある。

4. 日中の学生意識

② 大学生活について

日本

- ・受験生でも部活動に参加する
- ・宿題や課題の量が比較的少ない
- ・講義を学生自身が選択できる
- ・大学生活は娯楽性が高いものとして捉えられている
- ・カフェやカラオケを利用する学生が多い
- ・Instagram、YouTubeの利用頻度が高い
- ・課題にAIを利用するが、すべてをAIに代替させることはない
- ・Instagram、YouTubeの利用頻度が高い
- ・課題にAIを利用するが、すべてをAIに代替させることはない

中国

- ・大学は全寮制である
- ・時間割は配布され、学生自身が講義を選択しない
- ・講義によって授業時間が異なる
- ・地域差による学力格差が存在する
- ・大学生活は学習中心である
- ・少人数制で評価が厳しい
- ・小紅書、bilibiliの利用が多い
- ・アニメ、韓国ドラマを視聴する学生が多い

【学生のコメント】

両国ともテレビ視聴は少なく、SNSで情報を収集する学生が多い。ファッション、グルメに関する情報の収集にSNSが活用されている。大学教育の仕組みには差があり、中国は受験競争率が高く、日本に比べ、大学のレベルと就職の関連性が大きい。

4. 日中の学生意識

③ 結婚観・ライフプラン

日本

- ・結婚しない選択をすると「売れ残り」とされる場合がある
- ・独身のほうが就労しやすいという印象がある
- ・地方在住者は結婚時期が早い傾向
- ・子どもを望まない学生がいる
- ・自由が制限されるため結婚を望まないという意見がある
- ・結婚手続きが煩雑という印象がある
- ・結婚よりペットを飼うという選択肢をとる例がある
- ・家族形成による幸福度上昇を期待する学生がいる
- ・互いを支え合えるパートナーを求める人が一定数いる
- ・同棲は結婚の責任とはみなされないことがある
- ・同棲によって相手の欠点を理解できるという意見がある

中国

- ・地方では物価高騰で賃貸負担が重い
- ・結婚後も金銭的安定のため就労する人が多い
- ・就職難による大学院進学が増加し、晩婚化が進んでいる
- ・結婚の利点は「特別な関係を築けること」との意見がある
- ・不安を感じると相手への気持ちが冷めるため、束縛を望まないという声がある
- ・結婚相手の条件として、学歴・将来性・安定職・収入差・五金(※)の贈与・家または車の提供・結納金が挙げられる
- ・同棲を望む学生は少ない
- ・結婚式に漢服を用いる例が増加している

【学生のコメント】

日本では女性が働きやすい環境があり、中国では結婚時の家・車の提供および結納金の負担がある。日本は感情的幸福、中国は安定の確保を重視する傾向があるという意見があった。

4. 日中の学生意識

④ その他の価値観：「可愛い」の定義

日本

- ・「可愛い」は外見・仕草に対して用いる
- ・守りたくなる対象に対して使用する
- ・目上の人への使用は失礼とされる

中国

- ・「可爱」は「愛すべき」という幅広い意味をもつ
- ・外見に限定されない
- ・スタイルの良さには使用しない
- ・功労者や偉人に対しても用いる
- ・国への貢献度が高い人に対して使われることが多々ある

【学生のコメント】

日本でも、女性の見た目を指す場合、中国と同じ使い方。

4. 日中の学生意識

④ その他の価値観：「浮気」の定義

日本

- ・隠し事をする事
- ・異性と二人でお酒を飲むこと
- ・目的を持って異性と会うこと
- ・ナンパをすること
- ・風俗店の利用はサービスとみなし、浮気ではないとする例がある
- ・幼馴染は家族として扱うことがある

中国

- ・身体的・心理的つながりを持つこと
- ・異性との約束を隠すこと
- ・風俗店の利用は浮気とされる
- ・幼馴染と結婚する例があるため、距離を取る傾向がある
- ・大学が全寮制であるため、異性と二人でお酒を飲んでも浮気とみなされにくい

【学生のコメント】

日中どちらでも異性に高価な贈り物をする行為は浮気と捉えられる。